

令和元年度 横浜市世界を目指す若者応援事業

(個人留学による帰国報告)

●氏名

U.Sさん

●留学先

国/都市：カナダ/Winnipeg

外国の高校：West Kingdom Collegiate

●留学期間

2019年8月4日～2020年7月2日

●留学先での活動、留学で学んだこと

私はカナダに一年留学し、日本とカナダの人の考え方の違いや国際問題に触れ深く考えることができた。

カナダは多国籍国家のため、多文化に対する視点や考え方が日本と大きく違い、私が留学した街はフィリピンやインド、ベトナムからの移民が多く、学校ではアジア系が半数を占めていた。フードコートやスーパーマーケットでも世界中の食材が揃っており、どんな人種でも生活しやすい国だと感じ、実際日本人の私も顔立ちが浮いてしまうこともなく安心して生活できた。また、今年起こったジョージフロイドの事件から人種差別問題に対して授業でエッセイを書いたり、LGBTQを友達、テレビ番組などからより身近に感じたりするなど、さまざまな国際問題、差別問題にも深く関わった貴重な経験だった。加えて、日本ではあまり人種差別問題に対して考えられていない事実や、LGBTQの人々に対する認知、対応差に気づくこともできた。

カナダの人たちはみんな自分の意思を尊重し、同じ学校の友達はそれぞれ将来の夢や目標を強く持っていた。日本では、教育方針や国民性から周りに合わせたり、あまり個性を出し切れない環境が多いことから、自分の意思がはっきりしなかったり、深く考えずに将来を決定することが多いと思う。しかし、カナダの学校では自由に教科を組めたり、個人の意思を第一に考えるような考え方が浸透したりしていて、私にとってはとても良い環境でストレスも無く過ごせた。副教科の授業の課題なども自由に決められたため、自分の趣味や特技を育て活かす場を学校で提供してもらったことが自分の個性を認識したり、周りに伝えたりするいい機会になった。デジタルメディアのクラスでは、デジタルで制作した自由な媒体を使って何か一つプレゼンテーションをするという課題があったため、横浜についての動画を作成し、プレゼンテーションをした。今までただの趣味であった動画作成や他の趣味なども、追及する環境と時間が日本よりあったことに

より人のために使ったり、スキルアップができたりと有意義な時間だった。これらの特技を、今後将来の仕事に活かし、自分の意思を大切に生きる姿勢をこれからも大事にしていきたいと思う。